三年間

ありがとうございました

岩佐姫奈

この三年間で一生の友人となる人達ができました。楽しい時には、一緒に笑い合い、辛い時には支え合うことができる友人をこれからも大切にしていきたいと思います。また、熱心に勉強を教えてくださる先生達のおかげで、様々な検定に合格することができました。出会いと努力の三年間でした。

川崎遥音

三年間コロナの影で休日が多く、普段の生活ができなくなってしまい、とても不安でした。しかし、その中でもたくさんの人達に出会ったり、色んなことを学んできました。四月からは町内に就職するので、これから忙しくなりますが、精一杯頑張りたいと思います。三年間ありがとうございました。

小泉乃々香

高校生活三年間、決して楽しいことばかりではありませんでした。でもずっと笑顔でいられたのはまぎれもなく支えてくれた人達のおかげです。そして最高におもしろい友人たちと過ごした日々は私の一生大切な宝物です。離れるの淋しいな。これからもツッコミ役よろしく！　大好きだぞ！

小林音歩

病気になってから、様々な面でサポートしていただきありがとうございました。新たな進路先でも頑張ります。本当にお世話になりました。

クラスのみんなもいろんな場面で手を貸してくれてありがとう。楽しい三年間だったよ。

佐々木洸瑠

私が高校生活で力を入れてきたことは部活動です。私は高校から陸上競技を始め、恩師に出会いやり投げに三年間打ち込むことができました。恩師の教えもあり全道に進むことができ、他校の友人を作ることができました。沢山の出会いがある三年間でした。三年間ありがとうございました。

柴田寧々

三年間お世話になりました。

神明里

私は高校入試で初めて出会った絶対仲良くなれないと思っていた人と仲良くなりました。本当に人生何があるのか分からないのでもっとおもいっきり楽しんで生きていきたいです。三年間ありがとう。人生後悔しないようにね！

滝沢玲果

私は高校三年間、吹奏楽部や行事で良い経験も悪い経験もすることができました。諦めてしまったことも多かったけど、それでも今後に活かせることが沢山ありました。仲の良い友人とも会えて良かったです。三年間ありがとうございました。

新井田悠翔

三年間、様々な方々にお世話になりました。コロナの影響で色々な制限があったけど、毎日楽しい生活を送れたので最高でした。先生方には、一年生から様々な場面でお世話になり、とても感謝しています。卒業しても更に成長したいと思います。三年間、本当にありがとうございました。

似鳥斗也

高校生活の三年間は、長いようであっという間でした。この三年間で学んだことは「自立」です。これからは、自分の力で立ち、進んでいかなければなりません。学んだことをしっかりと心に留めて、進学先や仕事先でも頑張ります。

野澤晶太

この三年間は今まで生きてきた中で一番短く感じました。この三年間では、学校祭の主役など様々な体験をしてきました。この春から十八年間過ごしてきたオホーツクや仲間たちと離れ、新しい場所で生活を始めます。私はこの興部高校で学んだことを忘れず、新天地でもここで学んだことを活かしていきます。三年間ありがとうございました。

能戸瑞佳

この三年間は、今までできなかったことに挑戦でき、成長することができたものだったと思います。迷惑をかけた場面も多々あったかと思いますが、先生方や友人達に支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

古内彩心

この三年間は色々ありました。なんならありすぎるくらいに。しかし、今までの学校生活で一番楽しかったです。これは先生方のおかげでもあります。三年間、ありがとうございました。

そして、皆のおかげで良い思い出ができたよ。三年間ありがとう！　愛してる!!

松本胡桃

色々なことがありましたが、振り返ってみると楽しい思い出の方が多いです。また、大好きだと思える友人達に出会えて充実した三年間でした。このように楽しく過ごせたのは、先生方、友人達のおかげです。今までありがとうございました。

松本悠依

三年間ありがとうございました。

卒業に寄せて

三A担任　池田誠

三Aのみなさん、そして保護者のみなさま。三年間、よちよち歩きの担任であった私を育ててくださり、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の影響でこの三年間多くの学校活動は制限されましたが、そんな中でも、創意工夫をこらして、私たちは、見学旅行や学校祭などの多くの行事を実現しました。みなさんの楽しい思い出や学びに私が少しでも貢献できたのであれば、とてもうれしいです。

みなさんのほぼ全員が、四月から一人暮らしを始めます。みなさんの心は、ようやく親から離れられるといううれしさ半分と、いよいよ自立して一人でやっていかなきゃという不安が半分というところかと思います。

しかし、「自立」とはなんでしょうか。最近よく言われることなのですが、自立とは、頼れるものを増やし、たくさんのものに少しずつ支えられながら生きている状態を指すのだそうです。どれにも少しずつ寄りかかっているから、その都度自分で何を頼るかを決めることができるし、万が一そのどれかが欠けても大きな影響は受けない。これは、頼れるものが何もない「孤立」とも、ごくわずかなものだけに大きく寄りかかって、そのどれかが欠ければ途端に倒れてしまう「依存」とも大きく異なります。誰もが一人で抱え込まず、また何かに寄りかかりすぎることもなく、少しずつ与え合い、また与えられる。こうしたネットワークの上に、全員の自立があるのです（あるいは「共立」といってもいいかもしれません）。心配ありません。孤独を感じたら誰かに救いの手を求める。それがむしろ自立への一歩なのです。

矢野顕子さん（歌手）が「ひとりぼっちはやめた」という曲で歌うように、さよならだけが人生ではなく、人生にはたくさんの「こんにちは」も待っています。みなさん、たくさんの価値あるものと出会い、仲間と支え合い、大いに泣き笑い、人生を謳歌してください。卒業すれば、私とみなさんはもはや教員と生徒ではなく、ともによい社会をつくる仲間です。離れ離れにはなりますが、同じ空の下、それぞれの場所で、この意義ある大仕事にともに携わっていきましょう。

三Aのみなさん、そして保護者のみなさま、ご卒業本当におめでとうございます。